

事業概要表(草の根協力地域活性化特別枠)

I. 事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル国
2. 事業名	モンゴル国路床の凍上性に着目した首都ウランバートル市内における道路の質的向上に向けたプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	モンゴルの道路の舗装化は、1990年代に外国の援助により行われ、極度の乾燥、冬季の極寒等モンゴルの厳しい気候条件に、必ずしも十分適用できていない。その結果、道路にはひび割れ等の道路破損箇所が多く見られ、社会・経済活動の効率性向上や環境負荷軽減等を妨げている。本事業では、首都の道路建設に携わる技術者に対し、凍上現象に関する知識及び凍上判定技術を移転することで、地域特性を理解した人材の育成に取り組む。
4. プロジェクト目標	ウランバートル市の道路建設に携わる技術者が凍上現象に関する知識及び凍上判定に基づく地域特性を理解する。
5. 対象地域	首都ウランバートル
6. 対象地域を管轄する大使館および領事館	在モンゴル日本国大使館
7. 本事業の対象となる人々	【直接受益者】ウランバートル市道路開発局(UBRDD)及びモンゴル地理学・地生態学研究所(IGG)のスタッフ 【間接受益者】ウランバートル市道路建設従事者
8. 事業活動	1-1: モンゴル語で書かれた凍上現象とその対策に関するハンドブックを作成し、UBRDD 及び IGG スタッフに配布する 1-2: 凍上現象の理解度テストを実施する 1-3: 作成した教科書を用いて、凍上現象とその対策に関する講習会を開催する 1-4: 凍上現象の理解度テストを再度実施する 2-1: UBRDD 及び IGG のスタッフを日本に招聘し、凍上試験装置の仕組み、操作、凍上試験結果の解釈に関する講習会を開催する 2-2: UBRDD 及び IGG のスタッフを日本に招聘し、北海道の道路工事で実施されている凍上対策について学ぶ現場見学会を開催する 2-3: UBRDD 試験所、IGG の研究室に凍上試験装置を導入する 2-4: モンゴル語で書かれた凍上試験に関するマニュアルを作成する 2-5: 作成したマニュアルを用いて、凍上試験の実技指導を実施する 2-6: 凍上試験から得られた試験結果を用いて、土の凍上性判定を行う 2-7: 土の凍上性判定に関する理解度テストを実施する 3-1: UBRDD 及び IGG のスタッフと協力して、路床土の採取箇所を選定する 3-2: 路床土の採取方法について実技指導を実施する 3-3: 採取した路床土を用いて UBRDD 及び IGG のスタッフが凍上試験を実施する際に、再度実技指導を行う 3-4: UBRDD のスタッフが採取した路床土の凍上試験を実施して、土の凍上性判定を行う 3-5: IGG のスタッフが UBRDD と同様に凍上試験を行い、UBRDD で行った凍上試験結果の検証実験を行う 3-6: UBRDD のスタッフが凍上試験結果を取りまとめて、ウランバートル市特定地域の凍上危険度マップを作成する
9. 実施期間	2022年8月22日～2025年8月21日
10. 事業費概算額	59,925千円
11. 事業の実施体制	【日本側実施団体】北見国際技術協力推進会議 【現地カウンターパート】ウランバートル市道路開発局、モンゴル地理学・地生態学研究所
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	北見国際技術協力推進会議(提案自治体:北見市)
2. 活動内容	技術協力に関する研究調査、研修プログラムの策定、研修員・留学生と市民の交流事業、情報収集及び国際協力に関する啓発事業、